

平成14年 1月24日

東洋建設株式会社

大型揚土船「第二東揚号」建造について

東洋建設(株)は、山砂または山土利用による大型埋立工事の需要が高まるとの予測のもとに、昭和63年に大型バックホウによる揚土システムを搭載した大型揚土船「東揚号」を建造し、関西国際空港建設工事をはじめとする大阪湾内の大規模埋立工事他に就役し、その能力を十分に発揮することができました。

この度、中部国際空港他の大型海洋プロジェクトの埋立において逼迫が予想される揚土船の需要に対応するため、「東揚号」に採用した揚土システムを基本コンセプトとし、実績に基づき機能、性能に改良を加え、さらに揚土効率の向上を図った「第二東揚号」を建造いたしました。

本船は、すでに昨年11月から12月まで神戸空港建設工事でその能力を発揮し、新年からは中部国際空港埋立工事に就役が予定されています。

今後も海洋空間の有効活用を目指すマリナリゾート、ウォーターフロント開発事業に期待するところは大きく、「第二東揚号」は「東揚号」とともに、これらの方面に大いに寄与できるものと確信しております。

「第二東揚号」の特長、主要目は次のとおりです。

記

1. 特 長

- (1)揚土能力は2,500m³/hで大量の土砂を短時間に揚土することができます。
- (2)スプレッダーコンベヤは国内最大のアウトリーチ65m（先端20m伸縮式）、揚土高さ最大20m、180°旋回式で広範囲への揚土が可能であり、さまざまな埋立条件に対応できます。
- (3)揚土機（バックホウ）は延長70mの甲板架台上を自走でき、土運船の移動が不要です。
- (4)油圧駆動式スパッドの装備によりアンカーレスの船体固定ができ、占有面積も最小に抑えることができます。
- (5)集中運転システムの採用により作業の省力化、安全化を図っています。

2. 主要目

(1) 船体主要寸法	長さ (全長)	85.00m	
	幅 (型)	28.00m	
	深さ (型)	5.50m	
	喫水	1.80m	
(2) 揚土装置	揚土能力2,500m ³ /h、アウトリーチ65m, 揚土高さ水面上最大20m		
	揚土機	バックホウ式パワーショベル (EX1800)	2基
		バケット容量10m ³	
	ホッパー	鋼製揚土機連結型	ホッパー容量 40m ³ 2基
		エロンフィーダ付 (1,250m ³ /h)	
	ベルトコンベヤ	搬送能力 2,500m ³ /h	ベルト幅1,600mm
		ベルト速度	水平機長
	甲板ベルトコンベヤ (NO.1)	180m/min	67m
	" (NO.2)	180m/min	23m
	スプレッダコンベヤ (NO.3)	180m/min	45m
	シャトルコンベヤ (NO.4)	200m/min	30m
(3) 操船・係船装置			
	操船ウインチ	25/10ton×10/25m/min	6台
	係船・引寄ウインチ	15ton×12m/min	4台
	スラット装置	1,200角×28m	油圧駆動 2本
(4) 機関装置	総出力 2,472kw		
	主発電機	513kw×2台	1,026kw
	補助発電機	106kw×1台	106kw
	揚土機	335kw×2台 ×2基	1,340kw

3. 建造造船所 神例造船株式会社

(お問い合わせ先)

東洋建設株式会社 総務部広報課 名 和 盛 雄
 東京都千代田区神田錦町3-7-1 TEL 03-3296-4611

